



COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

ALL RIGHTS OF THE PRODUCER AND THE
OWNER OF THE WORK REPRODUCED RESE-
RVED. UNAUTHORISED COPYING, PUBLIC
PERFORMANCE AND BROADCASTING OF
THIS RECORD PROHIBITED. MADE IN JAPAN
BY NIPPON COLUMBIA CO. LTD.

**N.Y.
SOPHISTI-
CATE
A TRIBUTE TO
DUKE
ELLINGTON**

**THE GREAT JAZZ
TRIO with THE
STRINGS
QUARTET**

1 IN A SENTIMENTAL
MOOD

2 C JAM BLUES

3 MOOD INDIGO

4 SATIN DOLL

5 LUSH LIFE

6 SOPHISTICATED
LADY

7 TAKE THE "A" TRAIN

8 I GOT IT BAD

9 CARAVAN

10 SOLITUDE

DENON
PCM DIGITAL
RECORDING

Interface
STEREO
38C38-7097

© 1984.3



COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO
DENON
Interface

N.Y. SOPHISTICATE
THE GREAT JAZZ TRIO

38C38-7097
PCM DIGITAL
RECORDING
STEREO



N.Y. SOPHISTICATE
A TRIBUTE TO DUKE ELLINGTON
THE GREAT JAZZ TRIO
WITH THE STRINGS QUARTET

Arranged and Conducted by MASAHIKO SATOH

N. Y. SOPHISTICATE
A TRIBUTE TO DUKE ELLINGTON

THE GREAT JAZZ TRIO
with THE STRINGS QUARTET

- 1 IN A SENTIMENTAL MOOD (D.Ellington - I.Mills - M.Kurtz)
- 2 C JAM BLUES (D.Ellington - R.Roberts - B.katz - R.T hiele)
- 3 MOOD INDIGO (D.Ellington - I.Mills - A.Bigard)
- 4 SATIN DOLL (D.Ellington - B.Strayhorn - J.Mercer)
- 5 LUSH LIFE (B.Strayhorn)
- 6 SOPHISTICATED LADY (D.Ellington - M.Parish - I. Mills)
- 7 TAKE THE "A" TRAIN (B.Strayhorn)
- 8 I GOT IT BAD (AND THAT AIN'T GOOD) (D.Ellington - P.Webster)
- 9 CARAVAN (D.Ellington - J.Tizol - I.Mills)
- 10 SOLITUDE (D.Ellington - E.De Lange - I.Mills)

• Musicians •
HANK JONES : Steinway Piano
Rhodes Piano
Celesta
EDDIE GOMEZ : Bass
JIMMY COBB : Drums

Rhythm arrangements by HANK JONES
String arrangements by MASAHIKO SATOH
Conducted by MASAHIKO SATOH
Recorded and Mixed at Nippon Columbia Studios
in October and November, 1983 by using
Mitsubishi X800 32 Tracks Digital Tape Recorder

Produced by Kiyoshi Itoh for Nippon Columbia
Recorded and Mixed by Hiroshi Gotoh*
Assistant Engineer: Keishiro Sonoda
Project Coordinator: Tomohiro Saitoh*
* Nippon Columbia

当代最高のピアノ・トリオ《ザ・グレイ
ト・ジャズ・トリオ》が弦楽4重奏団を
バックにエリントンの名曲と取り組んだ
快心のニュー・アルバム!

これは、当代ジャズ界きっての名ピアニスト
のひとり、ハンク・ジョーンズを核にした
《ザ・グレイト・ジャズ・トリオ》がエリン
トン・ナンバーと取り組んだ最新吹込で、ス
トリング・カルテットをバックにしたアルバ
ム・タイトル通りソフィスティケートなコン
ポ・ジャズ近來の好アルバムである。

ハンク・ジョーンズp、エディ・ゴメスb、ジ
ミー・コブds—9年前結成当時とは3たび変
った現在の《ザ・グレイト・ジャズ・トリオ》
は、昨1983年10月、ナンシー・ウィルソン、
フルーゲルホーンの名手アート・ファーマー
とともに来日し、洗練された演奏によってフ
ァンを魅了したが、このアルバムはその時日
本滞在中に吹込まれたものである。

ジャズやポピュラーのスタンダードを好ん
で演奏してきたハンクにはこれまでにラグタ
イムの有名曲や、ガーシュウインの《ボーギ
ーとベス》の中の歌曲を特集したアルバムが
あるが、エリントンの名曲と取組んで作った
アルバムは今回がはじめてである。あの偉
大なデューク・エリントンが世を去ってこと
しは早くもまる10年になろうとしているが、

この10年のあいだにエリントン・ナンバーを
特集したアルバムを作ったジャズメンは少な
くない。ハンクの弾くエリントン・ナンバー集
ということだけで筆者は大いに心惹かれる。

ピアニスト、ハンクのもつ技量、テクニッ
クよりも彼の演奏から感じてきたゆたかな音
楽性、知的な、しかしナイーブな人間性がエ
リントン・ナンバーにいかにも反映し、ハンク
の音楽として展開されるかがたのしみなので
ある。もちろんエディ・ゴメス、ジミー・コ
ブへの期待もある。しかし、ハンクとエリン
トン(ナンバー)との取り組、という企画は
すばらしい。その企画にまず拍手をおくりた
いとおもう。

《ザ・グレイト・ジャズ・トリオ》
とハンク・ジョーンズ

ハンク・ジョーンズのピアノを中心にした
《ザ・グレイト・ジャズ・トリオ》が結成さ
れて今年ちょうど10年目になる。

1975年に結成された当時のメンバーは、ロ
ン・カーターb、トニー・ウィリアムス ds
だったが、《ザ・グレイト・ジャズ・トリオ》
としての第一作のベースはバスター・ウィリ
アムスだった。オリジナル・メンバーでの初
吹込は1976年5月に渡米した渡辺貞夫との共
演による「アイム・オールド=ファッション
ド」(イースト・ウィンド)だった。このオリ
ジナル・メンバーのトリオによる吹込はその

あと78年までに日本のレコード会社のために8枚もつくられ、いずれもベスト・セラーとなった。80年代に入ってベース・ドラムスがエディ・ゴメスも、アル・フォスターdsと代ったが、昨1983年に来日した時にはドラマーがさらにジミー・コブに代った。このグループ結成の発案者はトニー・ウィリアムズだといわれているが、3者同格、リーダーを立てていないグループだった。そしてメンバーは何回か変わってきたが、ピアノという楽器の性格からも一貫してハンク中心のグループであり、音楽的にみてハンク・ジョーンズ・トリオと考えられるのである。いつの場合にもハンクは最年長者であり、彼がグループとしての音楽的思考、サウンド・カラーを創ってきたとみられるからである。どの時期のトリオも第一級のインストルメンタリストの集団ならではの協調によって質の高い演奏効果をあげてきたが、もしもハンク・ジョーンズが誰か別なピアニストに代わるとしたら《ザ・グレイト・ジャズ・トリオ》のカラー、性格は変わってしまうであろう。従って過去10年間の《ザ・グレイト・ジャズ・トリオ》は事実上、ハンク・ジョーンズのトリオだったといえるのである。

ハンク・ジョーンズは数多いアメリカのジャズメンのなかでも日本のジャズ・ファンに支持者が多く、発売レコードの数、来日公演

回数からも日本のファンが親近感をもっている名ピアニストである。今は解散してしまったサド=メル・オーケストラのリーダー、フルーゲルホーンの名手サド・ジョーンズ、コルトレーン・カルテットの名ドラマー、エルヴィン・ジョーンズとの3人兄弟、その長兄であることもよく知られているが、ハンクは今やジャズ・ピアノ界の大御所といえるキャリアと名声の持主である。1918年（7月31日）生まれだから65才、20代なかばバップ台頭期の1944年生まれ故郷のミシガン州からニューヨークに出てから40年になる。10代から20代前半までにスウィング・スタイルのピアノ奏法をマスターしていたハンクはそこでバド・パウエルやアル・ヘイグラッパ、ピアニストをきき、バップの洗練を受けるとともにホット・リップス・ベイジ、アンディ・カーター、ビリー・エクスタイン、コールマン・ホウキンス、ハーワード・マギーら第一線奏者、バンド・リーダーのもとで腕を磨き、1947年にはノーマン・グランツに認められてJ A T Pコンサート・グループのピアニストに起用され、グランツのプロデュースする《クレフ》レーベルからレコーディング・デビューしたのだった。翌48年にはエラ・フィッツジェラルドの伴奏者に迎えられたが、50年代に入って間もなくフリーとなりニューヨークに落ちつき、スタジオ・ワーク、レコーディングに

活躍、56年ベニー・グッドマン・オーケストラにピアニストとして招かれ、翌57年グッドマン・バンドのメンバーとして初来日している。

ハンクのリーダー吹込は47年の《クレフ》盤（S P）以後しばらくなく、55年に《サヴォイ》、58年に《ゴールドデン・クレスト》《キャピトル》、62年に《R C A》、63年に《アーゴ》、64年に《A B Cパラマウント》と60年代までは思いのほか少ないが、サイドメンとしては多くの吹込があり、なかでもキャノンボール・アダグリーがマイルスを共演者に吹込んだ《ブルー・ノート》の名盤「サムシング・エルス」におけるハンクのソロはあまりにも有名である。

スウィング系奏者、中間派ジャズメンとも相性がいいが、どんなモダン奏者と共演してもトップ・クラスのモダン・ピアニストとしての力量をみせるオール・アラウンドな大型ピアニストであり、タッチの美しさ、スウィング感、リリカルなアド・リブ・アイディアは定評がある。そしてまた温厚なお人柄によってジャズ界きっての紳士ともいわれている。昨年の来日ステージでもそうだったようにこのトリオは全員黒の正装で演奏する。コンサート・ステージでも思い思いの暗装で演奏するグループが圧倒的に多いなかではM J Qとともに異例のことであるが、ここにもハンク

らがジャズを「音楽」と考えている認識、姿勢があらわれているとおもう。

ベースのエディ・ゴメスは1944年（10月4日）、フェルトリコのサントルス生まれ、60年代はじめマーシャル・ブラウンの新人バンドに起用されたあと、ジュリアード音楽院に学び、64年からマリアン・マクパートランド、ポール・プレイ、ゲイリー・マクファーランドらと共演した後、マイルス・デイヴィスのコンボでも屢々演奏、66年ビル・エヴァンス・トリオのベーシストとして決定的な名声を得た。70年代後半にはフリーとして活躍しているが、80年代に入ってからは《ザ・グレイト・ジャズ・トリオ》のメンバーとしての仕事をメインにしているテクニク、音楽性を兼ね備えた中堅右翼にランクされている逸材のひとつである。

ドラムスのジミー・コブは1929年（1月20日）首都ワシントンの生まれだから55才、若いころビリー・ホリデイやダイナ・ワシントンの伴奏をしたり、オール・ボスティックのバンドに加わったりしたが、50年代なかばキャノンボール・アダグリー、スタン・ゲッツ、ディジー・ガレスティエーなどのグループを経て58年マイルス・デイヴィス・セクスレットに加わり5年余りを過ごし63年ウィントン・ケリー・トリオのメンバーとなり翌年来日している。その後70年代に入ってサラ・ウォー

ンの伴奏者としても数回来日している。
《ザ・グレイト・ジャズ・トリオ》にあってはトニー・ウィリアムス、アル・フォスターに次ぐ三代目になるが、前任者より豊かな経歴をもつAクラスの実力ドラマーで、地味ながらハンクの偉衣にふさわしい人である。

曲目とエリントンについて

このアルバムで演奏される10曲はすべてジャズの名曲としておなじみのエリントン・ナンバーである。デューク・エリントンは1899-1974年中、おびただしい数の曲を書き、その数は3000曲を超えるともいわれているが、そのうち数十曲はジャズのスタンダード・ナンバーとして多くのジャズメン、歌手によって演唱されている、在世中のエリントンの十八番だった曲である。このアルバムの10曲中「テイク・ジ・A・トレイン」と「ラッシュ・ライフ」はデュークの片腕、分身といわれた名アレンジャー、ビリー・ストレイホーン1915-1967の作であり、「サテン・ドール」はデュークとビリーの合作曲である。また「イン・ナ・センチメンタル・ムード」と「ソフィスティケイテッド・レイディ」は初期エリントン楽団のサクソ奏者オットー・ハードウィックとデュークの合作曲でバラッド・タイプの傑作曲である。このほか「ムード・インディゴ」は

クラリネットのバーニー・ピガードとの合作、「キャラヴァン」はヴァルヴ・トロンボーン奏者ファン・ティゾールとデュークの合作曲で、「キャラヴァン」はエリントン・ナンバー中ポピュラー・ヒット曲と並ぶ大ヒット曲となっている。

これら10曲が書かれた年を年代順に記してみると「ムード・インディゴ」1930、「ソフィスティケイテッド・レイディ」1932、「ソリテュード」1934、「イン・ナ・センチメンタル・ムード」1935、「キャラヴァン」1936、「テイク・ジ・A・トレイン」「アイ・ガット・イット・バッド」1941、「Cジャム・ブルース」1942、「サテン・ドール」1953、「ラッシュ・ライフ」1957 となる。バラッド系の曲を中心にジャズ・ナンバー、ブルース、ラテン色の濃い作品などヴァラエティに富むエリントン・ナンバーには、共通してロマンティックでエレガントな親しみやすいエリントン・カラーがあり、エリントンニアンたちの協力によって生み出された作品も少なくない。

ハンクとデューク、《ザ・グレイト・ジャズ・トリオ》とストリング・カルテットが織りなす音楽の世界に君酔い給えノと申し上げたい。

hisamisu noguchi—January 15, 1984—

野口久光

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

新しい音のかたちが誕生!

今までのレコードは、その音溝の振動をピックアップの針で受けて音楽等を再生します。この時、レコードや針先、ターンテーブル等の物理的な限界により生ずる雑音、歪、レベル変動、ワウフラッタ等ははさけることができません。これらの問題を根本的に解決するためには、音楽信号をデジタル信号に変換してディスクに記録し再生すればよいのですが、同じ音楽内容でも従来のレコードの100倍以上の記録帯域が必要となり、従来そのままでは実現できません。

これを可能にする為このディスクは、レーザーによりデジタル信号を0.5ミクロン位の中の極微細な凹凸の断続信号の形(従来のレコードの溝は巾約70ミクロン)にして、しかも従来の30センチレコードの両面分を直径12センチの片面にぎっしり記録、小型化したもので、これを「コンパクトディスク」と呼びます。

コンパクトディスクの製造には非常にきびしい精度と充分な防塵対策等が必要ですが、その再生は弱いレーザー光により図のように下から(レーベルのない側から)透明プラスチック板本体を透過し、信号記録面で反射して再びプラスチック板を透過したもので得られ、しかも記録面は保護膜でおおっており、しかも記録部分はどちらの面にも露出しておらず、皆様のお手もとに渡った後に記録面にキズやゴミがつかない構造になっています。

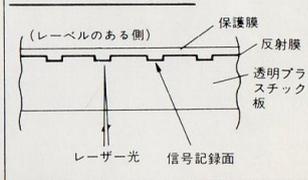
コンパクトディスクは、音楽信号を再生するにふさわしい充分な性能のデジタル信号で記録されてい

ますので、次のような優れた数多くの特徴を持っています。

- (1)ワウフラッタやそれに伴う変調雑音がほとんどない
- (2)広く平坦な周波数特性
- (3)ゴーストが発生しない
- (4)ダイナミックレンジが広い
- (5)歪がきわめて少い
- (6)クロストークがほとんどない
- (7)レコードの材料ノイズがない

また取扱いは、記録面が表面に露出していない為、比較的容易ですが、前述のように大変こまかい記録がされていますので、特にプラスチック面のキズやこれにはなるべく注意し、べったりした指紋はやわらかい布でふきとるなどして下さい。また、プラスチック製品なので高温多湿の場所での保管はお避け下さい。それにもご注意下さい。

コンパクトディスク断面図



©1984.3 NIPPON COLUMBIA CO., LTD. 製造・発売元:日本コロムビア株式会社 MADE IN JAPAN 此類このディスクから無断でテープその他に録音することは法律で禁じられています。

ニューヨーク・ソフィスティケート - デューク・エリントンに捧ぐ -

ザ・グレート・ジャズ・トリオ ウィズ ザ・ストリングス・カルテット

N. Y. SOPHISTICATE A TRIBUTE TO DUKE ELLINGTON

THE GREAT JAZZ TRIO with THE STRINGS QUARTET

TNO TRACK INFORMATION	TRK T.	A. T.
1. インナ・センチメンタル・ムード IN A SENTIMENTAL MOOD	00:00 04:53	00:02 04:55
2. シー・ジャム・ブルース C JAM BLUES	00:00 04:46	04:56 09:41
3. ムード・インディゴ MOOD INDIGO	00:00 04:31	09:43 14:13
4. サテン・ドール SATIN DOLL	00:00 04:14	14:14 18:28
5. ラッシュ・ライフ LUSH LIFE	00:00 03:28	18:29 21:57
6. ソフィスティケート・テッド・レディー SOPHISTICATED LADY	00:00 04:56	21:59 26:55
7. A列車で行こう TAKE THE "A" TRAIN	00:00 03:38	26:56 30:33
8. ガット・イット・バッド I GOT IT BAD (AND THAT AIN'T GOOD)	00:00 04:45	30:35 35:21
9. キャラヴァン CARAVAN	00:00 04:07	35:21 39:28
10. ソリテュード SOLITUDE	00:00 04:43	39:30 44:12

●TNO:Track No., TRK T.:Track Time, A. T.:Absolute Time(通し時間)

38C38-7097 DENON

N.Y. SOPHISTICATE THE GREAT JAZZ TRIO
A TRIBUTE TO DUKE ELLINGTON with THE STRINGS QUARTET

ニューヨーク・ソフィステイクイト デューク・エリントンに捧ぐ / ザ・グレート・ジャズ・トリオ ウィズ・ザ・ストリングス・カルテット
N.Y. SOPHISTICATE A TRIBUTE TO DUKE ELLINGTON / THE GREAT JAZZ TRIO with THE STRINGS QUARTET

1. インナ・センチメンタル・ムード IN A SENTIMENTAL MOOD
2. シー・ジャム・ブルース C. JAM BLUES
3. ムード・インディゴ MOOD INDIGO
4. サテン・ドール SATIN DOLL
5. ラッシュ・ライフ LUSH LIFE
6. ソフィステイクーテッド・レディー SOPHISTICATED LADY
7. A列車で行こう TAKE THE "A" TRAIN
8. ガット・イット・バッド I GOT IT BAD (AND THAT AIN'T GOOD)
9. キャラヴァン CARAVAN
10. ソリテュード SOLITUDE



ミュージシャンズ MUSICIANS

ザ・グレート・ジャズ・トリオ THE GREAT JAZZ TRIO

ハンク・ジョーンズ(ピアノ) HANK JONES, Piano

エディ・ゴメス(ベース) EDDIE GOMEZ, Bass

ジミー・コブ(ドラムス) JIMMY COBB, Drums

*

ザ・ストリングス・カルテット THE STRINGS QUARTET

¥3,800 ©1984.3 NIPPON COLUMBIA CO., LTD. 製造・発売元:日本コロムビア株式会社 MADE IN JAPAN 西暦

このディスクを貸貸業に使用することを禁じます。また無断でテープその他に録音することは法律で禁じられています。

ニューヨーク・ソフィステイクイト
デューク・エリントンに捧ぐ / ザ・グレート・ジャズ・トリオ
ウィズ・ザ・ストリングス・カルテット

38C38-7097

DENON